

木製防火ドア ユニット

片開ドア（防火設備・木枠タイプ）

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。



施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

扉梱包（扉本体）		枠梱包	
片開		部材名	
1		①	上枠 （ 1 ）
		②	縦枠 （ 1 ）
		③	縦枠 丁番側 （ 1 ）
		④	戸当り （縦用：2） （上用：1） ※気密パッキン付き

部品梱包	錠前	丁番		ドアクローザー	枠組立木ねじ
片開	1	DH2100mm以下	DH2400mm以下	1	4
		3	4		

※上記金物は、標準仕様時の内訳です。

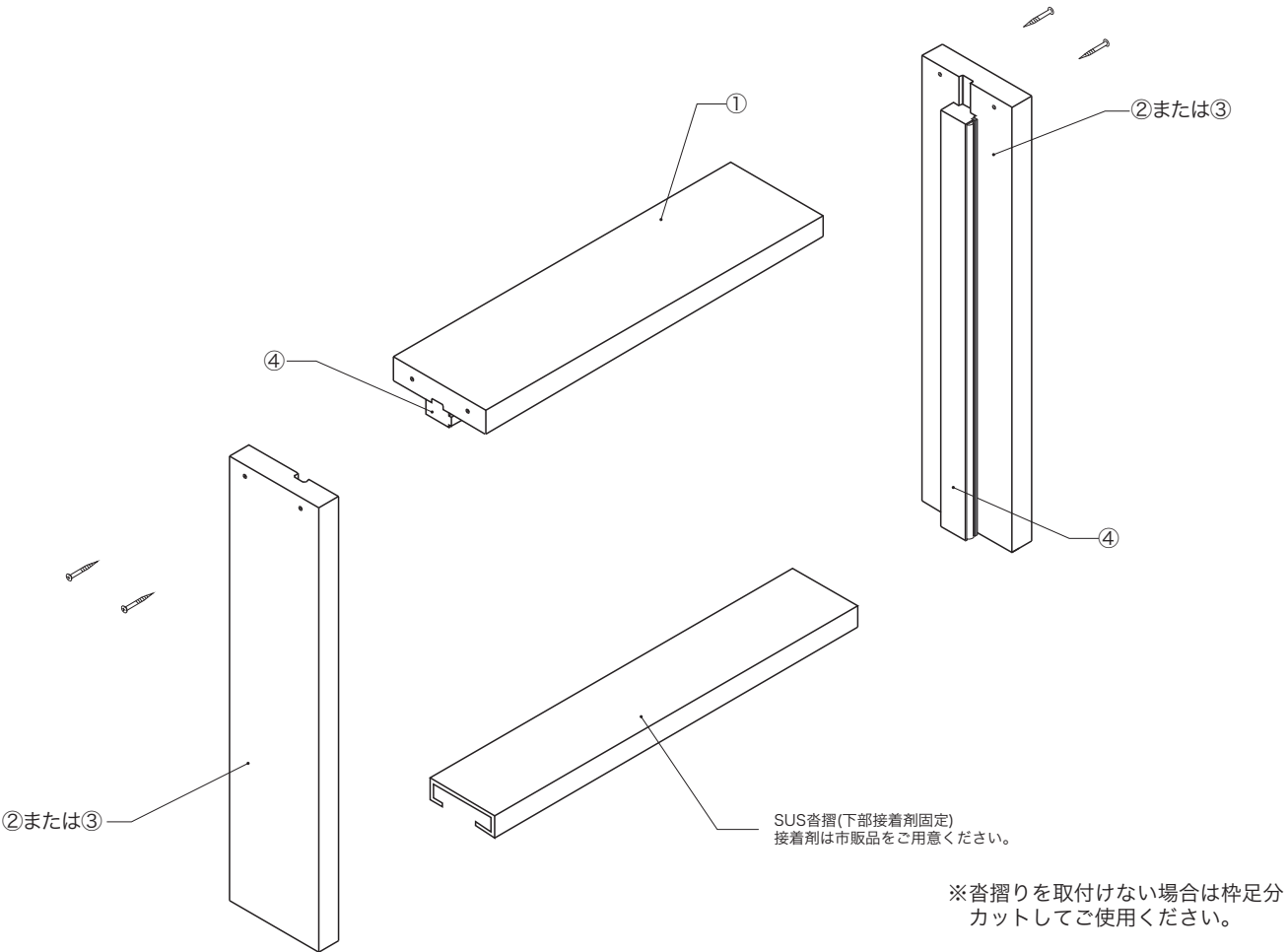
※特注対応品については、現場仕様により異なります。

■納まり図

別途製作承認図を参照下さい。

■枠の組立て<片開>

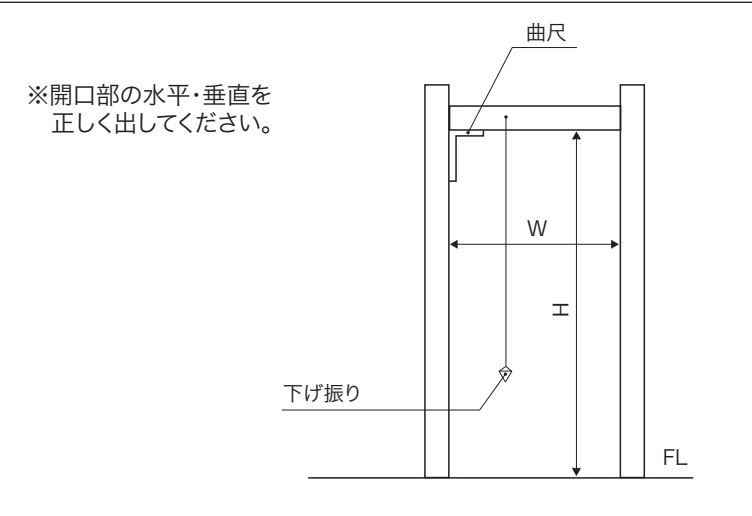
固定枠



取付け順

1. 開口部の確認

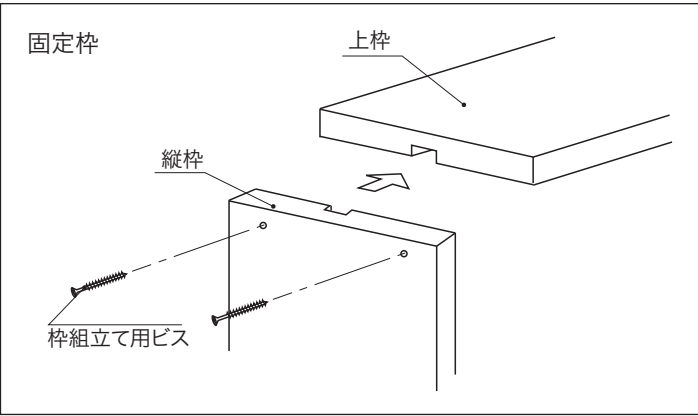
①ドア枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。



2. 枠の組立て

①右図のように枠組立用ネジで組み立ててください。この時、縦枠と上枠の仕口を右図のように組み合わせ、下穴に枠組立用木ネジを入れ、しっかりと固定してください。

※ドア枠すべてに下穴が加工されています。



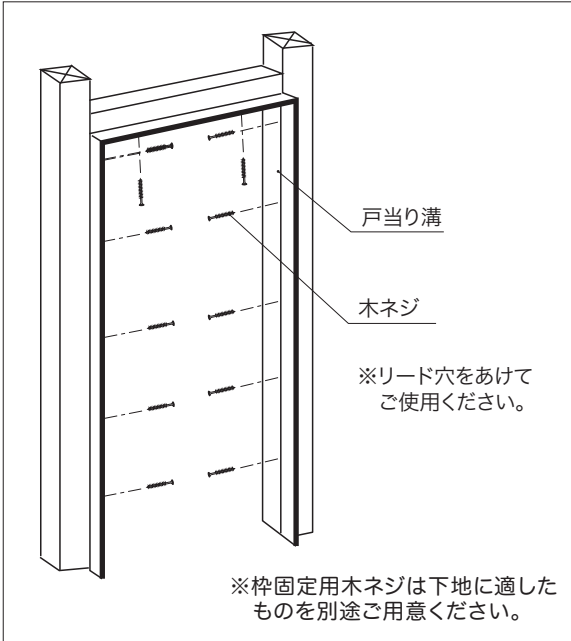
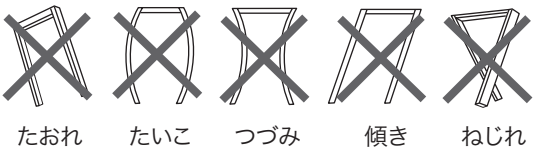
3. 枠の取付け

①枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整し位置を決めてください。右図のように戸当り溝の間より木ネジにてネジ止めし、躯体にしっかりと固定してください。

※木ネジ止め時には、枠に傷をつけないように止めてください。

※クサビ等は、左右4個・上下2個くらいを平均に使用して調整を行ってください。木ネジはクサビ等がある場所へネジ止めしてください。

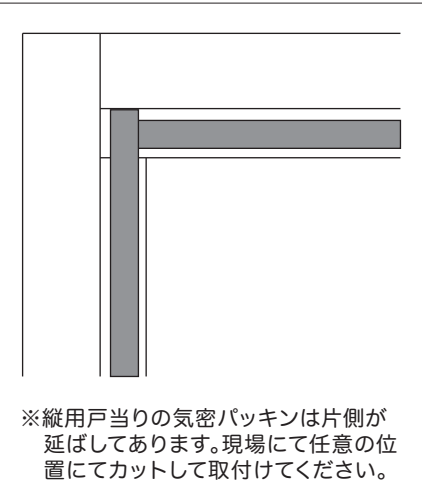
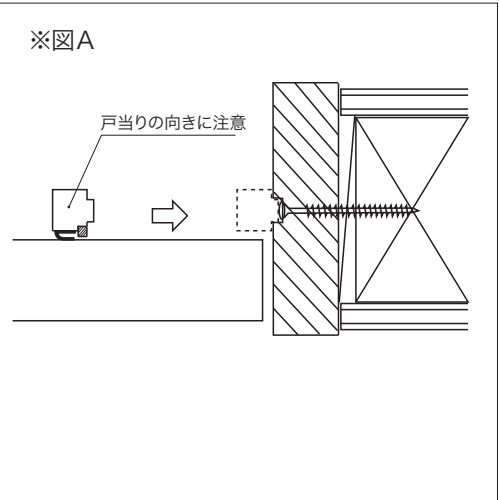
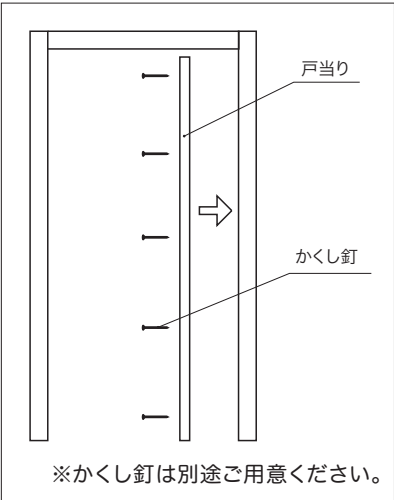
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



4. 戸当りの取付け

①枠の戸当り溝に接着剤を塗布してください。
戸当りを溝に図Aのように押し込み、ピッチ300mm程度にかくし釘等で固定してください。

※戸当りの取付けには、必ず接着剤が完全に固まるまで(2～3時間)ドアを強く閉じないでください。



5. 丁番の取付け方法

●金具の取付け

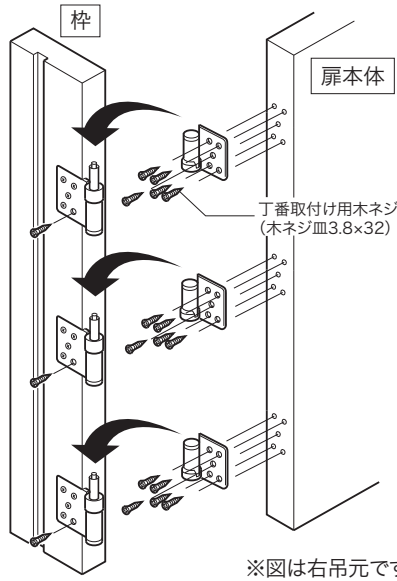
枠側丁番の取付け

①枠の上・中・下に丁番取付用木ネジで丁番を取り付けてください。

※丁番は上・中・下とも共通です。

扉本体金具の取付け

①扉側にも丁番を取り付けてください。

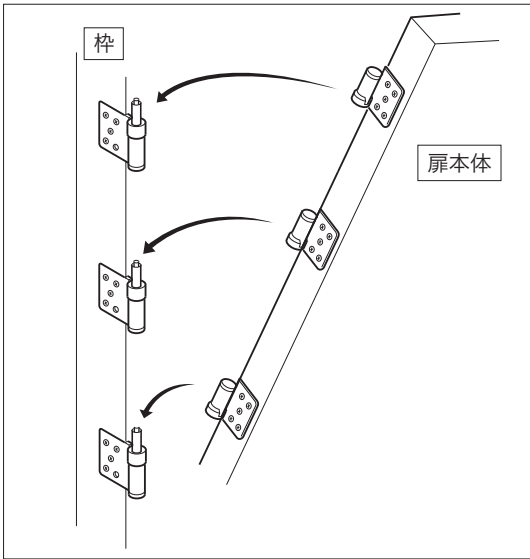


●扉の取付けと取外し

扉の取付け

①上・中・下の丁番を合わせて扉を取り付けてください。

※枠側丁番の木ネジを軽く動く程度にゆるめておくと扉側丁番とひっかかりやすくなります。
(扉取付け後は木ネジをしっかりと締めてください。)

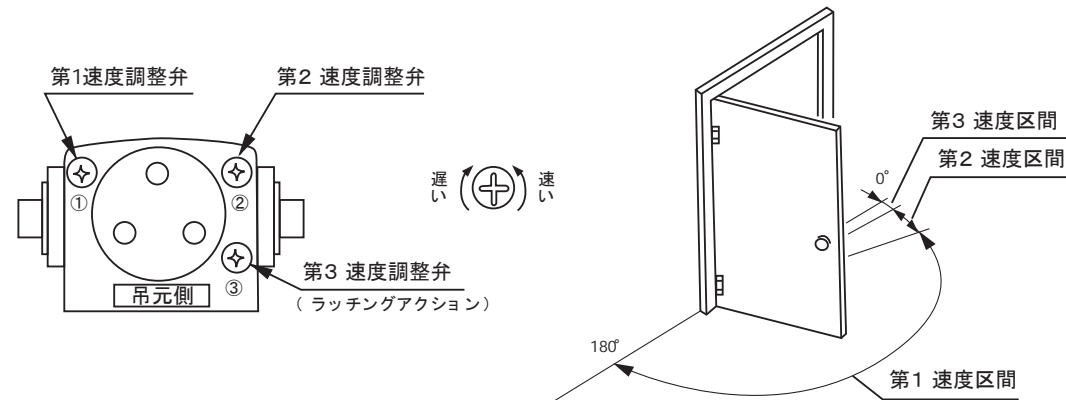


6. レバーハンドル・ドアクローザー取付け・調整方法

- ①レバーハンドルの取付けは部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- ②ドアクローザーの取付けは部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- ③オプションの部品をお使いの際は各梱包の付属の説明書をご覧ください。

■ドア閉じ速度の調整

- 調整は、第1速度、第2速度、第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
- 第3速度（ラッチングアクション）は、ドアが閉鎖位置手前2°付近まできた時点で素早く閉める機能です。



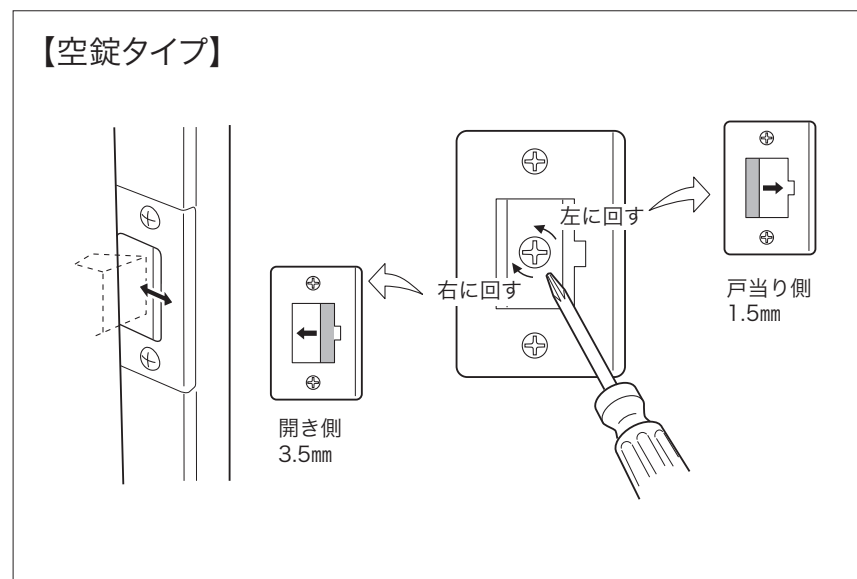
注意

- 速度調整弁は合成樹脂で出来ていますので、ドライバーの先端を調整溝に確実に合わせて調整しないと溝が破損する恐れがあります。
- 第3速度は、ドアを素早く閉める機能ですので、第2速度より遅くすることは出来ません。
- 調整弁は、ゆるめすぎないように注意してください。ゆるめすぎると弁が抜け油が漏れます。

7. ストライクの調整方法

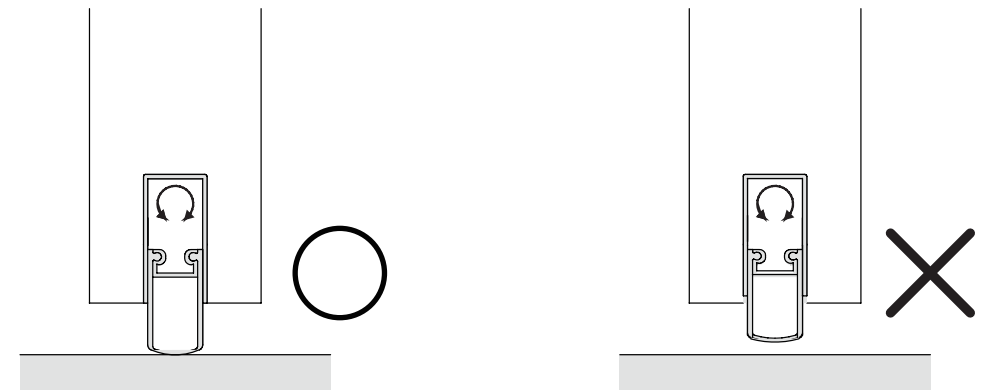
- ①ドアのラッチ部分に「ガタツキ」がある時は、ラッチ受け部分の調整ネジを回して調整してください。

※調整には、電動ドライバーを使用しないでください。



8. ボトムタイトの調整

扉を閉めた際、扉下端に付属しているボトムタイトが正常に作動しているかご確認ください。

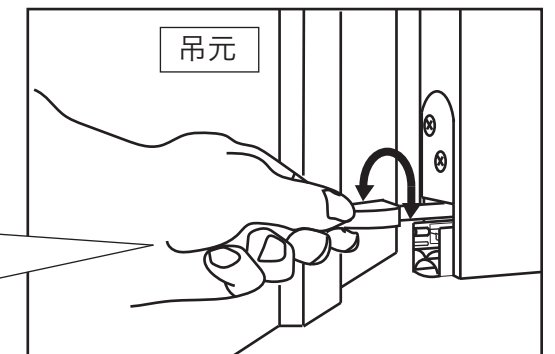
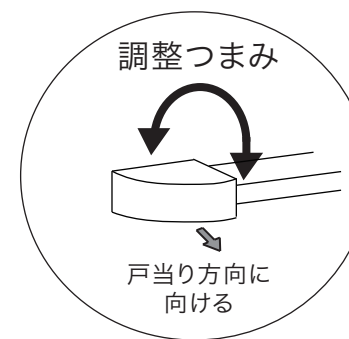


FLとボトムタイトが**密接**している

FLとボトムタイトに**隙間**が生じている

調整方法

吊元側下部の調整つまみを回して調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。